

2025年度 第1回地域事業支援会議 三重県士会版

日本作業療法士協会（地域社会振興部）における人材育成の現状について

2025年度の第1回目となる地域事業支援会議が、6月19日(木)にオンラインで開催され、選任者と聴講者合わせて172名の方にご参加をいただきました。当士会の選任者は、伊藤正敏（菰野厚生病院）竹内元輝（志摩地域医療福祉センター）らが参加しました。

さて、2025年度より新生涯学修制度が始まりました。これからの時代の変化に対応できる作業療法士の育成に向けて、協会内各部署や他団体等とのさらなる連携の下で進める必要が出てきております。

地域社会振興部においても、地域で活躍できる作業療法士を育成するための研修システムの構築（2025年度重点活動項目）へ向けて、以下のように取り組みを進めております。これまで、地域支援事業参加・参画に向けて作成した成果物も続々と完成し、HPへ掲載しております。是非ご一読ください。

2025年度重点活動項目

● 地域で活躍できる作業療法士を育成するための研修システムの構築（教育部・地域社会振興部）

1. 実践者育成（今、地域で活躍できる作業療法士の増加）

- ①地域事業に参画するための知識や方法の周知
- ②地域事業に実際参画するためのきっかけや準備の支援

2. 参画を支える環境支援

- ①市町村担当者、士会内マネジメント担当者の配置促進
- ②市町村担当者や士会マネジメント担当者のマネジメント力の向上
- ②市町村担当者や士会マネジメント担当者の育成研修

3. 地域共生社会への寄与に向けた他領域対応準備

- 上記1. 2をプラットフォームに高齢者だけでなく精神、発達等、多領域への段階的な研修システム構築

4. 本会教育制度との連動

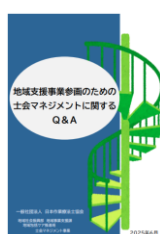
- 協会教育部が進める、養成教育、卒後の生涯学修制度、その先に「地域で活躍できる作業療法士の人材育成」が準備されている、一貫通貫した教育と人材育成の仕組みを構築する

介護予防・日常生活支援総合事業
短期集中予防サービス（サービス・活動C）
実践事例集 Vol.1

NEW



短期集中サービスの参加促進事業

一般社団法人 日本作業療法士協会
地域社会振興部 地域事業支援課 地域包括ケア推進班地域包括ケアシステム参画の手引き
第2版保健事業と介護予防の一体的実施事業
作業療法士参画マニュアル地域支援事業参画のための
士会マネジメントに関するQ & Aこれまで作成した成果物も
是非ご覧ください。

各事業の報告

1. 短期集中予防サービス促進事業

令和6年度から作成を進めていた実践事例集が執筆者の皆様のご協力のもと完成いたしました。心より感謝いたします。令和7年度からは、医療機関から地域活動へ移行してきた事例集の作成を予定しています。

2. 市町担当者配置事業

士会マネジメントモデル事業について

全国の担当者配置率は66.2%（2024.9）→71.9%（2025.3）と増加しております。引き続き担当者配置を進めるとともに、市町村担当者の活動と士会マネジメントの後方支援を行っていきます。

編集後記

令和7年6月19日に開催された「第1回地域支援事業会議」に参加し、当士会の人材育成の取り組みを報告しました。他士会でも地域リハに関する認定制度を導入し、認定者を中心に地域支援を進めているところがありました。一方で、研修参加者の伸び悩みや認定者数の減少により、地域支援を担う人材の確保が課題となっているとの意見も聞かれました。

また、地域共生社会の実現に向けて、多様な領域で活躍する作業療法士の存在を広く知ってもらうことや、人材発掘・情報発信の必要性も共有されました。こうした声をふまえ、当士会としても今後の活動にしっかりとつなげていきたいと思ひます。今年はたくさん情報発信もしていこうと思ひています。ご協力お願いします。三重県士会 担当：竹内元輝